

- 問1 ドイツの歴史において、19世紀後半のドイツ帝国成立から現代に至るまでに起こった出来事について、年代の古いものから順に正しく並べたものはどれですか。 （2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 日独伊三国同盟の調印 —
三国同盟の結成 —
ワイマール憲法の制定 —
ベルリンの壁崩壊

2. ワイマール憲法の制定 —
三国同盟の結成 —
日独伊三国同盟の調印 —
ベルリンの壁崩壊

3. 三国同盟の結成 —
日独伊三国同盟の調印 —
ワイマール憲法の制定 —
ベルリンの壁崩壊

4. 三国同盟の結成 —
ワイマール憲法の制定 —
日独伊三国同盟の調印 —
ベルリンの壁崩壊
- 問2 国際連合の専門機関の一つであり、世界的に見て保存する価値がある貴重な自然や建造物を「世界遺産」として登録・保護する活動を行っている組織として適切なものはどれですか。 （2016年 長野県公立入試 類似）

1. WHO（世界保健機関）

2. ILO（国際労働機関）

3. ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）

4. ユニセフ（国際連合児童基金）
- 問3 アメリカ大統領とソ連書記長が会談し、長年の冷戦の終結を宣言するに至った歴史的背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 （2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. ソ連において、国内の立て直しを図るための改革（ペレストロイカ）が進められ、西側諸国との協調路線に転換したこと。

2. 第二次世界大戦直後に東西ドイツの分断を決定した会談に基づき、両国の経済協力が順調に進んだこと。

3. ソ連がキューバに核ミサイル基地を建設したことで、アメリカとの間に核戦争の危機が高まり、軍縮の必要性が生じたこと。

4. 核兵器の開発競争においてソ連がアメリカを圧倒し、軍事的な優位性を確立したことで対立を続ける必要がなくなったこと。
- 問4 バブル経済期における日本の状況とその崩壊について、背景や仕組みを説明したものとして適切なものを選択してください。 （2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 土地を持っていれば必ず値上がりするという土地神話が広まり、多額の資金が不動産投資に向けられた。

2. 企業の合併や統合が進んだことで失業者が減少し、物価が継続的に下落するデフレーションが発生した。

3. 世界的な不況により企業の倒産が相次いだため、政府が公共投資を削減して財政再建を優先させた。

4. 重化学工業から知識集約型産業への転換が進み、国全体が安定成長期へと移行するきっかけとなった。
- 問5 1991年に起こったソビエト連邦（ソ連）の解体と、その後の国際社会への影響について述べた文として、正しいものはどれか。 （2019年 三重県公立入試 類似）

1. 東ヨーロッパの社会主義諸国が、ソ連を中心とする軍事同盟を強化した。

2. 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。

3. 東西に分断されていたドイツが、一つの主権国家として統合された。

4. 冷戦が終結したことで、ユーラシア大陸からすべての国境線が消滅した。
- 問6 日本と近隣諸国との関係および冷戦終結期の国際情勢について述べた文として、1965年の条約締結と1990年の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。

2. 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年にはイギリスから香港が返還された。

3. サンフランシスコ平和条約によって主権を回復し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。

4. 日中共同声明によって中国との国交が正常化し、1990年にはイギリスから香港が返還された。
- 問7 1967年に制定された「公害対策基本法」に代わり、1993年に「環境基本法」が制定された主な理由として、当時の社会状況の変化をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 （2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため

2. 高度経済成長期に発生した四大公害裁判の判決を受け、公害の被害者救済と原因企業の処罰のみに特化した厳しい規制を行う必要が生じたため

3. 国際連合人間環境会議の開催を受け、世界に先駆けて二酸化炭素の排出量を半分に以下に削減する具体的な数値目標を国内法で義務づけるため

4. バリ協定の採択に基づき、国内の環境規制を国際基準に合わせることで、途上国への技術支援を経済政策の柱として位置づけるため
- 問8 日本の戦後から現代に至る社会や文化の変化について、出来事を年代の古い順に正しく並べたものを選びなさい。 （2025年 宮崎県公立入試 類似）

1. テレビ放送の開始 → 闇市の出現 → バブル経済の盛況 → 携帯電話向けインターネットサービスの普及

2. 闇市の出現 → テレビ放送の開始 → 携帯電話向けインターネットサービスの普及 → バブル経済の盛況

3. バブル経済の盛況 → 闇市の出現 → テレビ放送の開始 → 携帯電話向けインターネットサービスの普及

4. 闇市の出現 → テレビ放送の開始 → バブル経済の盛況 → 携帯電話向けインターネットサービスの普及
- 問9 湾岸戦争が勃発した背景や、その際にとられた国際的な対応について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 共産主義勢力の拡大を阻止することを目的として、北米自由貿易協定に基づき軍が派遣された。

2. 民族紛争を解決するため、ヨーロッパ諸国を中心とするNATO（北大西洋条約機構）のみが展開した。

3. 冷戦の影響により、アメリカとソ連がそれぞれ別々の陣営を支援して対立が激化した。

4. 国際社会の秩序を乱すクウェート侵攻に対し、国連の決議に基づいて多国籍軍が結成された。
- 問10 現代の国際社会において、1967年に発足した「欧州共同体（EC）」から1993年の「欧州連合（EU）」への発展や、1992年の「地球サミット」の開催に共通する背景として、最も適切なものはどれですか。 （2020年 東京都公立入試 類似）

1. 冷戦の終結に伴い、科学観測を目的とした国際極年の活動を政治的な軍事同盟へと格上げする必要が生じたこと。

2. 経済的な利害や地球環境の保護など、国家単位では解決が困難な課題に対して、地域や地球規模での協力体制が求められたこと。

3. アジア・アフリカ諸国の急速な経済成長に対抗するために、欧米諸国が独占的な経済圏を再構築しようとしたこと。

4. 国際連盟の失敗を教訓として、すべての加盟国が平等に一票を持つことで、大国の影響力を排除する体制を目指したこと。
- 問11 欧州連合（EU）が発足した1993年に、千葉県の谷津干潟が登録された「ラムサール条約」の内容として、最も適切な説明を選びなさい。 （2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保護し、保全することを目的としている。

2. 文化財や自然環境のうち、人類全体にとって顕著な普遍的価値を持つものを保護している。

3. 国境を越えて移動する、絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引を規制している。

4. 酸性雨の原因となる物質の排出を抑えるため、多国間での協力体制を構築している。
- 問12 「戸籍に基づいて、6歳以上の男女に田（口分田）を与え、本人が死ぬと国に返させる」という仕組みを定めた、律令国家の基本となる法令は何か。 （2024年 北海道公立入試 類似）

1. 御成敗式目

2. 班田収授法

3. 墾田永年私財法

4. 鎮国令

答え合わせ・解説

問1	答え 4 三国同盟の結成 ― ワイマール憲法の制定 ― 日独伊三国同盟の調印 ― ベルリンの壁崩壊	ドイツ帝国は1882年にオーストリア・イタリアと「三国同盟」を結びましたが、これは19世紀の出来事です。その後、第一次世界大戦の敗戦を経て1919年に「ワイマール憲法」が制定されました。さらに時代が下り、第二次世界大戦中の1940年には日本・ドイツ・イタリアの間で「日独伊三国同盟」が結ばれます。冷戦末期の1989年に東西分断の象徴だった「ベルリンの壁崩壊」が起こり、翌年の再統一へとつながりました。
問2	答え 3 ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）	国際連合の専門機関であるユネスコは、教育、科学、文化の振興を通じて国際協力を促進し、世界の平和と安全に貢献することを使命としています。その主要な活動の一つが、1972年に採択された世界遺産条約に基づき、人類共通の財産である文化遺産や自然遺産を保護することです。選択肢にあるユニセフは子どもの支援、WHOは保健衛生、ILOは労働環境の改善を主目的とする機関です。
問3	答え 1 ソ連において、国内の立て直しを図るための改革（ペレストロイカ）が進められ、西側諸国との協調路線に転換したこと。	1980年代後半、ソ連のゴルバチョフ書記長が推進した「ペレストロイカ（改革）」により、停滞していたソ連国内の経済・社会を立て直すため、アメリカとの対話が進みました。この流れの中で1989年にマルタ会談が開かれ、長年の対立関係を解消することで合意しました。他の選択肢にあるキューバ危機やベルリンの壁の建設などは、冷戦の緊張が高まっていた時期の出来事です。
問4	答え 1 土地を持っていれば必ず値上がりするという土地神話が広まり、多額の資金が不動産投資に向けられた。	バブル経済の背景には、土地の価格は決して下がらないという「土地神話」がありました。銀行などの金融機関は土地を担保に積極的に融資を行い、企業や個人はその資金でさらなる土地や株式を購入したため、価格の異常な上昇に拍車がかかりました。崩壊後は多額の借金が残る「不良債権問題」へと発展し、日本経済に深刻なダメージを与えました。
問5	答え 2 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。	ソ連の解体は冷戦終結を象徴する出来事であり、それまで連邦の一部であった各共和国は主権を持つ独立国家となりました。これらの新国家が国際連合へ加盟したことで、国際社会における国家数は大幅に増加し、現代の国際秩序が形成される大きな節目となりました。なお、ドイツの統一やベルリンの壁崩壊はソ連解体に先立って起こった関連事象ですが、直接の「解体による変化」とは区別する必要があります。
問6	答え 1 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。	日本は1965年に日韓基本条約を締結し、大韓民国との間で国交を正常化させました。世界情勢に目を向けると、1980年代後半からの冷戦終結の流れの中で、1990年にドイツ統一が実現しました。イギリスから中国への香港返還が行われたのは、冷戦後の1997年のことです。
問7	答え 1 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため	1960年代の日本では、高度経済成長に伴う地域的な公害（大気汚染や水質汚濁など）が深刻な社会問題となっており、それらを規制するために「公害対策基本法」が制定されました。しかし、1990年代に入ると、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨といった国境を越える地球規模の課題が顕在化したため、従来の公害対策を包含しつつ、より広く環境保全や国際協力を推進するための「環境基本法」へと発展的に解消・統合されました。
問8	答え 4 闇市の出現 → テレビ放送の開始 → バブル経済の盛況 → 携帯電話向けインターネットサービスの普及	終戦直後の1940年代後半には、非正規ルートで食糧などを取引する闇市が形成されました。その後、1950年代にテレビ放送が開始され、1980年代後半には株価や地価が高騰するバブル経済が発生しました。1990年代後半以降には携帯電話によるインターネットサービスが普及しました。
問9	答え 4 国際社会の秩序を乱すクウェート侵攻に対し、国連の決議に基づいて多国籍軍が結成された。	イラクによるクウェート侵攻は、主権国家に対する不当な侵害として国際的な非難を浴びました。冷戦が終結に向かっていった時期であったため、国際連合が有効に機能し、アメリカやイギリス、さらにはアラブ諸国も含む広範な多国籍軍が組織されてイラクを撤退に追い込みました。
問10	答え 2 経済的な利害や地球環境の保護など、国家単位では解決が困難な課題に対して、地域や地球規模での協力体制が求められたこと。	第二次世界大戦後のヨーロッパでは、経済・政治的な統合によって紛争を抑止し、共通の利益を追求するために欧州共同体（EC）が作られ、後の欧州連合（EU）へと深化しました。一方、地球サミットは「持続可能な開発」をスローガンに、温暖化などの地球規模の環境問題に対して国際的な枠組みが必要であるという認識から開催されました。これらは、一国では対処できない課題に国際協力で挑む姿勢を示しています。
問11	答え 1 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保護し、保全することを目的としている。	ラムサール条約は、1971年にイランのラムサールで採択された条約で、正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。1993年にEUが誕生した時期、日本でも環境意識の高まりとともに、埋め立ての危機から守られた谷津干潟（千葉県習志野市）がこの条約に登録されました。他の選択肢は、ワシントン条約、ウィーン条約、世界遺産条約などの説明です。
問12	答え 2 班田収授法	大化の改新後に目指された公地公民の原則を実現するための制度です。すべての人々に口分田を割り当てる代わりに、租（稲）などの税を納めさせる仕組みを確立しました。